



豊岡の森

令和4年7月21日

わくわく！ドキドキ！の

たった一度しかない〇年生の夏休み！



明日から40日間の夏休みが始まります。夏休みは毎年来ますが、〇年生の夏休みは一度しかありません。「今年の夏休みは何をしようかな？」とあれこれ考えている子も多いと思います。40日間という長い夏休み。是非有意義な休みにしてほしいと思います。

豊岡っ子のみなさん 夏休みは「家族思いの子供」に！！

今日の終業式では、子供たちに、夏休みは「家族思いの子供」になって、家族を喜ばせてほしい！「家族思いの子供」になるために3つのことを実行しましょう。という話をしました。

まずは、今日は、帰ったら、家族の人にお礼を言いましょ。「1学期、無事に学校へ通うことができました。ありがとうございました。」と。そして、これからは、夏休み中、いろいろなことに対して感謝の言葉を言うように心掛けましょ。これがまず「家族思いの子供」の第一歩です。

2つ目は、夏休み中は、家族みんなのことを思ってお手伝いをましょ。お手伝いを一生懸命やるということは、家族を大切にすることです。庭の水やり、草取り、お風呂掃除、食事の用意、部屋の掃除に洗濯物をたたむ等、やろうと思えば、手伝うことはいろいろあります。でも、たくさんはできないでしょうから、一つか二つ決めて、続けるようにましょ。

そして、3つ目、あなたの「夢」を育ててください。どうしてそれが「家族思いの子供」と関係があるのか不思議に思うかもしれませんが、それには深い関係があります。自分の子供が、将来の夢を話すようになったら、それは、おうちの人にとってはうれしいことです。「家族思いの子供」として、是非、自分の夢をもち、それをおうちの人に話して、喜んでもらいましょ。将来の夢を育てるためには、夏休み中に、いろいろなことを「やってみる」「調べてみる」「考えてみる」ことが大切です。

夏休みが終わったら、元気に学校へ来てください。心も体も少し大きくなった皆さんと会うのを楽しみにしています。「家族思いの子供」として、夏休み中、ぜひとも頑張ってください。

保護者の皆様へ 「子供と大人はちがう」を大切に！

保護者の皆様に、この夏休みに一つお願いできるならば、「子供と大人は違う」ということを大切にしていだきたいと思います。

子供を大人扱いして、子供の言動に何でも理解を示したり、すべて子供の判断に任せたりすることが子供を大切にすることではないと思います。子供と大人には、見え方や考え方に超えられない大きな差があります。よく問題になるネットや SNS の利用に関しても、子供がアクセスしているサイト、オンラインゲームの内容や、メール・ラインの中身をご存じでしょうか。学校でもネットや SNS に潜んでいる危険性や、してはいけないこと等を指導しておりますが、御家庭でも、まずは持たせることの是非や、正しい利用ができる判断力がついていかなど、もう一度お考えいただき、子供にふさわしいルール作りをお願いいたします。

また、帰宅時間、お金の使い方、家庭での役割等についても考える機会にしていだければと思っております。「家族思いの子供」になろうと、きっと頑張る子供たちです。子供たちの思いを受け止めながら、正しい方向に教え導いていただき、充実した夏休みになりますよう御協力をお願いいたします。

(校長:鈴木 右二)